

【薄根地区】

地区別の主なご意見・ご質問と回答・見解

(統合全般)

ご意見・ご質問	回答・見解
2 学級が望ましい、小学校は各地区 1 校ということだが、令和 12 年度の状況をみると、更に統廃合を進めた方がいいのではないかな。	現段階においては、通学距離や時間、学校施設整備上の課題があり、今回の素案としております。
素案よりも更に小学校を統合すべきだと思う。通学時間や地域コミュニティ、災害時の避難所を理由に地区ごとに小学校を残す方針を掲げられているが、そのために子供たちが適正規模に満たない環境を強制されるのは教育上好ましくないと思う。	小学校では、学校と地域コミュニティの協働が子供たちの成長に大変重要な視点であるため、各地区に 1 校を残すという素案となっています。
池田地区の小規模特認校に関しても、池田地区に学区として他の選択肢がないことは好ましくないと思う。地域コミュニティを守ることにはならず、若い世帯が他学区に移り住む要因になるのではないかな。	学区選択については、原則として住所地による学区制となり、小規模特認校を選択することが特例となります。池田小学校を小規模特認校とするかどうかについては、地域住民からのご意見をいただきながら検討しております。
幼稚園と中学校が無くなるのに小学校のみ残る地域があるが、小学校が統合しないのは、おかしい。その地区の子供は、他の学校の子供とのコミュニティを持っており、他の学校へ行きたいと考えている人もいます。	成長段階を考慮し、小学校では、地域コミュニティと学校の協働が大変重要な視点であることから、今回の素案としております。
	地域からのご意見を伺いながら検討してまいります。

(通学)

ご意見・ご質問	回答・見解
通学では、保護者が送迎している場合が多いため、保護者の送迎が 1 箇所に集まる。その部分も含めて検討してほしい。	小中学校統廃合の枠組みが決まり次第、適切な送迎車両の駐停車場所の確保等、通学時の安全確保について検討してまいります。
適正配置について、なぜ 4 5 分としたのか。実際には更に多くの時間をかけて通学等をする子供もいる。また、スクールバスの 4 5 分と徒歩の 4 5 分を一緒に考えているのか。	国の目安では“おおむね 6 0 分”とされている中で、PTA 代表、区長等で組織する審議会において議論を重ね、現在の通学状況や地域性などを考慮し、“おおむね 4 5 分”としたものです。
	スクールバス、通学等を含めて“おおむね 4 5 分”を目安と考えております。

(教育環境)

ご意見・ご質問	回答・見解
全国的に教員不足であるため、この計画では、教員が不足するのではないかと心配。	教員数は、県が定める基準に基づき、各校の学級数を基に算出されます。県教育委員会と連携し、各学校への適切な教員配置に努めます。

(その他)

ご意見・ご質問	回答・見解
薄根小学校と薄根中学校は、義務教育学校にならないのか。	義務教育学校は、一つの校舎で設置することを想定しているため、現状の立地条件や施設設備の観点から、薄根地区での義務教育学校設置は難しいと考え、このような素案となりました。

【薄根地区】

地区別の主なご意見・ご質問と回答・見解

この実施計画の財源については、国からの後押しがあるということか。	学校施設整備に係る国の補助金は、長寿命化改良事業では、補助率が原則 1 / 3 ですが、統合による改修事業では、原則 1 / 2 となっています。また、学校施設の整備事業を対象とした充当率 90 % の地方債を利用することもできることから、国や県の補助金を最大限に利用し、地方債も有効的に活用したいと考えております。
学校現場において、統廃合を「新しい学力観」「非認知能力の育成」「主体的・対話的で深い学び」等の実現に向けたチャンスと捉え、取り組む必要があると感じた。	統廃合を好機と捉え、それぞれの学校の特色ある教育内容、教育活動をさらに充実させるとともに、コミュニティ・スクールにより、地域の皆さんと一緒に魅力的な学びを創出し、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに努めてまいります。
他自治体では、中学校の制服について助成制度がある。統廃合に合わせ制服の検討もすると思うが、沼田市でも助成制度について検討いただきたい。	小中学校統廃合の枠組みが決まり次第、制服や通学カバン等の検討も進めることになると考えています。
学校設備を維持する予算が足りていないのであれば、学校の数进行減らしでも効率的に設備の更新をしていくべきではないか。	今回の統廃合で学校数が減少した場合、施設等維持更新費用の削減が見込まれます。子供たちが安心安全に教育を受けられるよう、効率的な施設整備に取り組んでまいります。